

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第11週 （3月10日～3月16日）

## ★県内での感染症発生状況

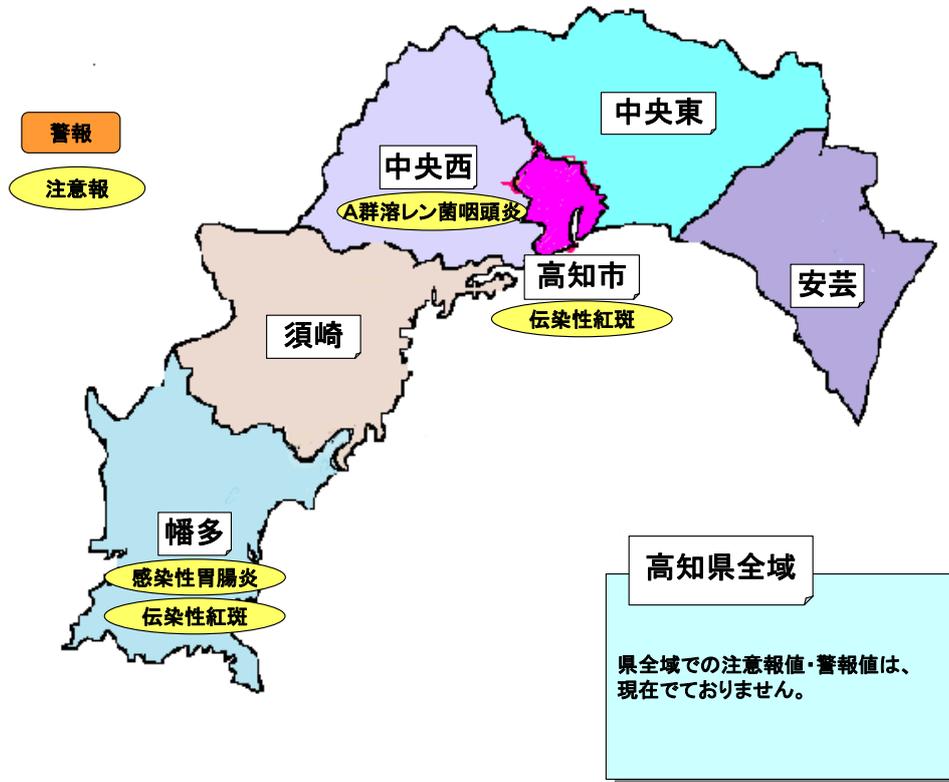
インフルエンザ・COVID-19 及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
感染性胃腸炎	➡	8.36	中央東で急増していますが、高知市、中央西で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	➡	3.39	須崎で増加していますが、幡多で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	2.56	中央東で増加していますが、須崎で急減、中央西で減少しています。
RSウイルス感染症	➡	1.28	安芸、須崎、中央西で急増、中央東で増加していますが、幡多で急減しています。
伝染性紅斑	➡	0.92	幡多、中央東で急増、高知市で増加していますが、須崎で急減しています。

### <推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↓	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	➡	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	⬇	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	➡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

## ★地域別警報・注意報状況



## ★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

## ★気になる感染症

### 百日咳

2025年2月に入って百日咳の発生届が増加し、今週だけで18件、現在44件となっています。(2025年1月1日から3月18日までの累計速報値)

#### 年間報告数

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
高知県	33	3	9	7	5	44
全国	2,819	707	491	1,000	4,093	3,361

#### 年齢別・保健所管内別報告数

保健所	年齢					総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	
中央東					1	1
高知市	3	4	11	2		20
須崎		5	18			23
総計	3	9	29	2	1	44

#### 症状

- ① 通常7～10日の潜伏期を経て、通常の風邪症状となり次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります。(カタル期)
- ② 短い咳が連続的に起こり(スタッカート)、続いて息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出ます(ウープ)。この様な咳嗽発作が繰り返すことをレプリーゼといい、しばしば嘔吐を伴います(痙咳期)。
- ③ 激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなりますが、その後、時折発作性の咳が出て、全経過約2～3ヶ月で回復します(回復期)。

感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫や接触により感染します。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険の高い疾患です。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。患者や百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することもあるので注意してください。

#### ●予防方法

- \* 人混みはなるべくさけ、外出時にはマスクを着用しましょう。帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- \* 定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

#### ●学校感染症

百日咳は、学校保健安全法(同法施行規則第18・19条)では、学校感染症(第2種)に位置づけられており、「特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで」出席停止とされています。ただし、病状により感染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

## ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	12	90歳代 女性	中央東
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	70歳代 男性	高知市
	梅毒	1	12	30歳代 男性	

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	百日咳	1	36	0～4 歳 男性	高知市
		1		5～9 歳 男性	
		1		5～9 歳 男性	
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		5～9 歳 女性	須 崎
		1		10～14 歳 男性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 女性	
1	10～14 歳 女性				

### ★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	感染性胃腸炎	下痢	1	女	須崎	Astrovirus NT
11	不明発疹症	発疹	3	男	須崎	Epstein-Barr virus Human herpes virus 6 human parvovirus B19
11	伝染性紅斑	発疹	9	女	須崎	human parvovirus B19
11	伝染性紅斑	咳嗽, 鼻汁	8	女	須崎	Human metapneumovirus
11	ギランバレー症候群疑い	—	10	男	中央東	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐	1	男	須崎	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	38℃, 下痢, 嘔吐	6	男	須崎	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	嘔吐	1	男	須崎	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐	7	男	須崎	Norovirus GII NT
11	急性咽頭炎	40℃, 下痢, 嘔吐, 発疹	2	女	中央東	Rhinovirus
11	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐	2	男	須崎	Sapovirus genogroup unknown

### ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳)
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 感染 4 例 (4 か月男、1 歳女 2 人、3 歳女) インフルエンザ B 型 2 例 (姉妹、姉はコロナも同時感染)
	高知大学医学部付属病院小児科	hMPV 肺炎 2 例 (5 歳女、10 歳男)
	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 2 例 (7 歳女、13 歳男) ノロウイルス胃腸炎 3 例 (6 歳女、9 歳男、11 歳男)
	JA 高知病院小児科	カンピロバクター腸炎 1 例 hMPV 気管支炎 6 例 RS ウイルス気管支炎 4 例 溶連菌性咽頭炎 5 例 インフルエンザ A 型 5 例 (うち臨床診断例 1 例) 10 週 マイコプラズマ (Lamp 法陽性) 2 例

保健所	医療機関	情報
高知市	けら小児科・アレルギー科	hMPV 気管支炎 18 例 (0 歳 2 人、1 歳 5 人、2 歳 4 人、3 歳 4 人、4 歳 2 人、5 歳) COVID-19 8 例 インフルエンザ A 型 2 例 RS ウイルス気管支炎 7 例 マイコプラズマ肺炎 1 例 (8 歳) 溶連菌感染症 23 例 ノロウイルス胃腸炎 2 例 (2 歳 2 人) ロタウイルス胃腸炎 2 例 (5 歳、8 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (10 か月男) 百日咳 (Lamp 法) 5 例 (8 歳女、12 歳男、13 歳女、14 歳男 2 人)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑 7 例 インフルエンザ 0 例 COVID-19 6 例 胃腸炎がまだ流行中
	ふないキッズクリニック	hMPV 感染症 2 例 (8 か月女、1 歳女) アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1 歳男、6 歳男) 百日咳 1 例 (13 歳男：抗原定性検査陽性)
	細木病院小児科	hMPV 感染症 8 例 (4 か月男、2 歳男、2 歳女 3 人、3 歳女、10 歳男、14 歳女) hMPV 気管支炎 5 例 (1 歳女、4 歳男女、5 歳女、6 歳男) ノロウイルス感染 2 例 (8 か月男、2 歳男) 咽頭結膜熱 2 例 溶連菌感染症 4 例 感染性胃腸炎 8 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染症 3 例 感染性胃腸炎 8 例
	日高クリニック	hMPV 気管支炎 6 例 (6 か月男、9 か月女、1 歳男女、2 歳女、5 歳男)
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎 17 例 hMPV 13 例 百日咳 5 例 (7 歳 1 人、10~14 歳 3 人、15 歳 1 人) COVID-19 2 例 (1 歳 2 人)
幡多	さたけ小児科	COVID-19 2 例 (2~3 歳) マイコプラズマ肺炎 9 例 (4~10 歳) 感染性胃腸炎 19 例 (0~11 歳) hMPV 2 例 (1 歳)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 4 例

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 3 月 17 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

## ★注目すべき感染症

### RS ウイルス感染症

RS ウイルス感染症はRS ウイルス (RSV) を病原体とする、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症である。潜伏期間は2~8日であり、典型的には4~6日とされている。主な感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手指や物品等を介した接触感染である。生後1歳までに50%以上の方が、2歳までにほぼ100%の人がRSVの初感染を受けるが、再感染によるRS ウイルス感染症も普遍的に認められる。初感染の場合、発熱、鼻汁などの上気道症状が出現し、うち約20~30%で気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現するとされる。乳幼児における肺炎の約50%がRSVによるとされ、特に早産児、心臓や肺の基礎疾患を有する児、あるいは免疫不全やダウン症候群の児は重症化しやすい傾向がある。さらに、慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者においてもRS ウイルス感染症の重症化リスクがあることが知られており、高齢者施設での集団発生事例も報告されている。ただし、年長の児や成人における再感染例では、重症となることは少ない。

RS ウイルス感染症が重症化した場合には、酸素投与、輸液や呼吸器管理などの対症療法が主体となる。RSV感染の重症化予防のため、早産児やハイリスク児を対象に、ヒト化抗RSV-F蛋白単クローン抗体であるパリビズマブの公的医療保険の適用が認められている。また、ハイリスク児や生後初回のRSV流行期を迎えた新生児と乳幼児を対象にしたヒト化抗RSV-F蛋白単クローン抗体製剤で、より長期間の効果が期待できるニルセビマブが2024年3月に承認を受けた。さらに、60歳以上のハイリスク者や、移行抗体による乳幼児の感染予防を目的として妊産婦を対象とする組換えRS ウイルスワクチンがそれぞれ承認を受けている。

RS ウイルス感染症は、感染症発生動向調査の5類感染症小児科定点把握対象疾患であり、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から毎週報告されている。定点医療機関において、医師が症状や所見よりRS ウイルス感染症を疑い、かつ検査によってRS ウイルス感染症と診断された者が報告の対象となる。本疾患の発生動向調査は小児科定点医療機関のみからの報告である。

2020年は一年を通じてRS ウイルス感染症の定点当たり報告数が少なく、ピークもみられなかった。しかし、2021年は第28週(5.99)、2022年は第30週(2.35)、2023年は第27週(3.38)、2024年は第28週(1.84)にピークがみられた(本号20ページ「グラフ総覧」参照)。2023年は2021~2024年の4年間でピークに達した週が最も早かった。

2025年の第1~9週の報告数は継続的に増加しており、各年の第5~9週までの定点当たり報告数を比較すると、過去5年間の同時期と比べて各週の定点当たり報告数は最も多くなっている。

2020年：第5週(0.35)、第6週(0.32)、第7週(0.27)、第8週(0.29)、第9週(0.28)

2021年：第5週(0.25)、第6週(0.27)、第7週(0.33)、第8週(0.41)、第9週(0.44)

2022年：第5週(0.34)、第6週(0.26)、第7週(0.23)、第8週(0.17)、第9週(0.20)

2023年：第5週(0.32)、第6週(0.30)、第7週(0.32)、第8週(0.31)、第9週(0.34)

2024年：第5週(0.12)、第6週(0.14)、第7週(0.15)、第8週(0.21)、第9週(0.29)

2025年：第5週(0.86)、第6週(0.96)、第7週(1.06)、第8週(1.21)、第9週(1.27)

2025年第9週の定点当たり報告数上位5都道府県は、山口県(5.12)、奈良県(3.68)、福井県/愛媛県(2.56)、佐賀県(2.43)、福岡県(2.35)であった。第9週までの直近5週間の定点当たり報告数上位5位の都道府県を以下に示す。

第5週：北海道(1.93)、大阪府(1.73)、奈良県(1.59)、山口県(1.47)、福井県(1.44)

第6週：山口県(2.70)、奈良県(2.09)、大阪府(1.76)、北海道(1.66)、兵庫県(1.64)

第7週：山口県(3.42)、福井県(2.40)、奈良県(1.97)、福岡県(1.87)、三重県(1.84)

第8週：山口県(4.30)、奈良県(2.74)、三重県(2.58)、兵庫県(2.30)、福岡県(2.18)

第9週：山口県(5.12)、奈良県(3.68)、福井県/愛媛県(2.56)、佐賀県(2.43)、福岡県(2.35)

2025年第9週現在、上位5都道府県は西日本に多いが、第3週以降、全ての都道府県から報告がある。

2025年第9週の報告数は3,984例で、例年と同様に男性(53.5%)が女性に比べて若干多かった。年齢(群)別では3歳以下が全体の88.2%、5歳以下が全体の95.5%を占め、1歳が30.1%(男性：53.2%)と最も多く、次に0歳が29.7%(男性：55.9%)、2歳が18.3%(男性：51.6%)であった。2025年第1~9週の累積報告数の分布においても、同様な傾向であった〔男性が53.7%、3歳以下が88.7%、5歳以下が95.4%、1歳が31.3%(男性：54.4%)、0歳が29.1%(男性55.0%)、2歳が18.7%(男性：51.9%)〕。

第1～9週の累積報告数において、0～3歳が占める割合は昨年と比較して概ね同様で推移していたが、4歳以上が占める割合はやや減少した。2020年と比較すると、0歳が占める割合は減少し、4歳以上が占める割合が増加した。2020～2025年の第1～9週における累積報告数（n）の年齢分布は表の通りであった。

RSウイルス感染症：第1～9週における累積報告数の年齢分布（2020～2025年）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上
2020年 (n = 8,389)	35.0% (2,933)	32.9% (2,756)	16.9% (1,417)	7.6% (641)	7.7% (642)
2021年 (n = 7,360)	18.5% (1,360)	37.0% (2,726)	26.1% (1,921)	10.4% (767)	8.0% (586)
2022年 (n = 8,762)	24.0% (2,102)	32.9% (2,881)	24.1% (2,110)	11.8% (1,038)	7.2% (631)
2023年 (n = 7,937)	21.5% (1,708)	29.7% (2,361)	21.3% (1,692)	12.4% (988)	15.0% (1,188)
2024年 (n = 3,769)	29.7% (1,118)	28.8% (1,086)	17.3% (652)	9.0% (340)	15.2% (573)
2025年 (n = 21,795)	29.1% (6,352)	31.3% (6,825)	18.7% (4,069)	9.6% (2,083)	11.3% (2,466)

累積報告数は、各年第9週の集計時速報値

第1～9週の累積報告数では、2025年の累積報告数は、2020年以降で最も多く、年齢群別報告数では2025年の1歳の報告数が2020～2025年のなかで最も多かった。

また、5類全数報告対象である急性脳炎として2020～2025年に届出された症例において、検出された病原体としてRSVの記載があったのは、いずれも第9週時点で2021～2023年は各0例、2020年、2024年および2025年は各1例であった。

#### おわりに

2025年のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第1～9週において継続して増加しており、第9週の報告数は2020年以降、最も高い水準にあった。定点当たり報告数が大きく増加した2021年以降、報告されたRSウイルス感染症症例の年齢分布および定点当たり報告数のピークに変化が見られており、引き続き発生動向を注視する必要がある。本疾患の発生動向調査は小児科定点医療機関のみからの報告であることから、成人における本疾患の動向の評価は困難であることに留意されたい。また、2025年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）が感染症法上の5類感染症に位置づけられ、ARIサーベイランスが開始される。これに伴い、定点医療機関数が減少するため、評価には注意が必要である。

RSウイルス感染症においては、家族内にハイリスク者（乳幼児や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者）が存在する場合、罹患により重症となる可能性があるため、飛沫感染や接触感染に対する適切な感染予防策を講じることが重要である。飛沫感染対策としてマスク着用（乳幼児以外）を含む咳エチケット、接触感染対策として手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが求められる。また、2023年以降に乳幼児、高齢者および妊婦を対象に承認された新たなRSVに対する予防手段の活用が推奨される。

★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第11週 令和7年3月10日(月)～令和7年3月16日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名	保健所						計	前週	全国(10週)	高知県(11週末累計)		全国(10週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R6/12/30～R7/3/16	R6/1/30～R7/3/9		
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	3	10	5		1	1	20 ( 0.45 )	15 ( 0.34 )	9,941 ( 2.02 )	7,565 ( 171.93 )	551,195 ( 113.65 )		
	新型コロナウイルス感染症	7	36	50	20	18	18	149 ( 3.39 )	170 ( 3.86 )	20,041 ( 4.07 )	3,200 ( 72.73 )	265,211 ( 54.68 )		
小児科 (25)	咽頭結核熱			3		1		4 ( 0.16 )	3 ( 0.12 )	904 ( 0.29 )	34 ( 1.31 )	8,415 ( 2.74 )		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	29	9	2	13	64 ( 2.56 )	69 ( 2.76 )	7,291 ( 2.33 )	577 ( 22.19 )	63,268 ( 20.57 )		
	感染性胃腸炎	22	32	76	8	17	54	209 ( 8.36 )	219 ( 8.76 )	35,553 ( 11.38 )	1,202 ( 46.23 )	216,250 ( 70.30 )		
	水痘			1				1 ( 0.04 )	1 ( 0.04 )	833 ( 0.27 )	28 ( 1.08 )	7,512 ( 2.44 )		
	手足口病			1				1 ( 0.04 )	( )	156 ( 0.05 )	34 ( 1.31 )	2,712 ( 0.88 )		
	伝染性紅斑		2	16			5	23 ( 0.92 )	14 ( 0.56 )	1,793 ( 0.57 )	231 ( 8.88 )	21,428 ( 6.97 )		
	突発性発疹		1	3			1	5 ( 0.20 )	5 ( 0.20 )	628 ( 0.20 )	46 ( 1.77 )	5,585 ( 1.82 )		
	ヘルパンギーナ							( )	( )	38 ( 0.01 )	1 ( 0.04 )	270 ( 0.09 )		
	流行性耳下腺炎							( )	( )	120 ( 0.04 )	5 ( 0.19 )	941 ( 0.31 )		
	RSウイルス感染症	2	8	17	1	2	2	32 ( 1.28 )	29 ( 1.16 )	4,391 ( 1.41 )	129 ( 4.96 )	26,208 ( 8.52 )		
	眼科(3)	急性出血性結膜炎							( )	( )	29 ( 0.04 )	( )	280 ( 0.41 )	
流行性角結膜炎				4				4 ( 1.33 )	1 ( 0.33 )	576 ( 0.83 )	10 ( 3.33 )	4,975 ( 7.29 )		
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							( )	1 ( 0.13 )	10 ( 0.02 )	1 ( 0.13 )	96 ( 0.20 )		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	12 ( 0.02 )	2 ( 0.25 )	109 ( 0.23 )		
	マイコプラズマ肺炎			1			2	3 ( 0.38 )	8 ( 1.00 )	137 ( 0.28 )	71 ( 8.88 )	2,830 ( 5.90 )		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	( )	( )	16 ( 0.03 )		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( )	74 ( 0.15 )	3 ( 0.38 )	337 ( 0.70 )		
計	34	100	206	38	41	96	515			82,527	13,139	1,177,638		
小児科定点当たり人数	( 14.50 )	( 13.59 )	( 20.14 )	( 14.00 )	( 15.75 )	( 21.13 )	( 17.40 )				( 332.62 )			
前週 (小児科定点当たり人数)	( 13.25 )	( 8.87 )	( 22.12 )	( 20.00 )	( 17.00 )	( 23.25 )		535 ( 17.80 )						

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第11週

定点名 (定点数)	疾病名	保健所						計	前週	全国(10週)	高知県(11週末累計)		全国(10週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R6/12/30～R7/3/16	R6/1/30～R7/3/9		
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	0.75	1.00	0.36		0.25	0.13	0.45	0.34	2.02	171.93	113.65		
	新型コロナウイルス感染症	1.75	3.60	3.57	5.00	4.50	2.25	3.39	3.86	4.07	72.73	54.68		
小児科 (25)	咽頭結核熱			0.33		0.50		0.16	0.12	0.29	1.31	2.74		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.83	3.22	4.50	1.00	3.25	2.56	2.76	2.33	22.19	20.57		
	感染性胃腸炎	11.00	5.33	8.44	4.00	8.50	13.50	8.36	8.76	11.38	46.23	70.30		
	水痘			0.11				0.04	0.04	0.27	1.08	2.44		
	手足口病			0.11				0.04		0.05	1.31	0.88		
	伝染性紅斑		0.33	1.78			1.25	0.92	0.56	0.57	8.88	6.97		
	突発性発疹		0.17	0.33			0.25	0.20	0.20	0.20	1.77	1.82		
	ヘルパンギーナ									0.01	0.04	0.09		
	流行性耳下腺炎									0.04	0.19	0.31		
	RSウイルス感染症	1.00	1.33	1.89	0.50	1.00	0.50	1.28	1.16	1.41	4.96	8.52		
	眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.04		0.41	
流行性角結膜炎				4.00				1.33	0.33	0.83	3.33	7.29		
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								0.13	0.02	0.13	0.20		
	無菌性髄膜炎									0.02	0.25	0.23		
	マイコプラズマ肺炎			0.20			2.00	0.38	1.00	0.28	8.88	5.90		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.03		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.15	0.38	0.70		
計	14.50	13.59	20.14	14.00	15.75	21.13	17.40				332.62			
前週 (小児科定点当たり人数)	13.25	8.87	22.12	20.00	17.00	23.25		17.80						



# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2025年 第11週)

